

栄養サポートチーム研修及び臨床栄養師研修の一部受講免除について

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

【栄養サポートチーム研修】

- 病院(一般病棟、療養病床、精神科病棟に加えて令和4年度診療報酬改定により障害者施設等入院基本料にまで対象が拡大されました。)における栄養サポートチームの専任となる医師、看護師、薬剤師、管理栄養士には、厚生労働省が認めた団体による栄養サポートチーム研修を修了していることが求められます。
- 日本健康・栄養システム学会の栄養サポートチーム研修は、厚生労働省に認められており、指定された内容によって構成されています。
- 通常は4日間(30時間)の受講が必要ですが、日本栄養士会が開催したSTEP1及びSTEP2の両研修を修了された方についてはそのうち後半2日間(14時間)の受講を免除します(添付PDF:日本栄養士会STEP1,2修了者のための栄養サポートチーム研修・臨床栄養師研修日程(以下、研修日程)参照)。
- その場合、前半2日間の座学と10時間の臨床研修(指定された手続きにより自施設において研修を行うこともできます。)を修了した方には修了証が授与されます。
- 本研修のうち座学の講義は全てオンラインによって行われます。
- 病院以外に所属する管理栄養士にとっても、栄養サポートチーム研修の加算要件の取得は、実務上の資格として、将来的にも活用して頂けるものです。
- 令和4年度の研修の申込締切は令和4年7月4日(月)午前9時までです。

【臨床栄養師研修】

- 臨床栄養師研修は、本学会の資格制度として平成18年度から開始され、当時の米国登録栄養士の資格要件であった900時間の臨床研修を核にして、100時間の認定講座(座学)に第一線の講師と臨床栄養師を配して構成されています。
- 延長手続きは必要ですが、最長3年間在籍できます。座学はオンラインにより土日に行われます。
- 臨床栄養師研修の修了者には、栄養サポートチーム加算の算定要件である栄養サポートチーム研修の修了証及び臨床栄養師の資格が授与されます。
- 本研修のうち、臨床研修は研修生と研修施設側のマッチングを事務局が行いますが、現在は新型コロナウイルスへの感染予防のため、個別の受講者に対して指導者が症例検討を指導する方法で実施しています。

- 認定講座のうち NST に関する上記の 14 時間、給食経営管理に関する科目の 2 時間及び症例検討科目のうち 16 時間の計 32 時間の受講を免除いたします(添付 PDF:研修日程参照のこと)。
- 本研修では、種々の免除規定により現任の管理栄養士が 3 年間で無理なく修了できるように配慮されています。また、大学院生やその修了生等には、研修費の減額が行われています。
- 令和 4 年度の臨床栄養師研修の出願締め切りは、令和 4 年 4 月 25 日(月)です(臨床栄養師研修には栄養サポート研修は含まれていますので、臨床栄養師研修に出願した場合は栄養サポートチーム研修に別途申込む必要はありません)。なお、出願が遅れる場合には、事前にお問い合わせください。

日本栄養士会 STEP1, 2の修了者のための 令和4年度 栄養サポートチーム研修日程表

時限	時間	科目名 (担当者名)			
		令和4年 8/6 (土)	8/7 (日)	8/8 (月)	8/9 (火)
会場		WEBによる			
	9:20-9:30	オリエンテーション			
1	9:30-10:30 *	臨/NST (医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・3時間)	臨/NST (医師含む) 経腸・静脈栄養法 (静脈栄養) 【応用】 (深柄和彦・3時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (矢野目英樹・2時間) P E S基礎
2	10:30-11:30 *				
3	11:30-12:30 *			臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (三原法子・2時間) 水電解質と輸液	臨/NST 退院 (所) 計画・指導 (高崎美幸・3時間)
4	13:20-14:20 *	臨/NST (医師含む) 経腸・静脈栄養 (経腸栄養) 【基礎】 (懸濁法等 薬剤との関係) (菅野浩・1時間)	臨/NST 在宅栄養ケア・ マネジメント (古賀奈保子・3時間) 高齢者在宅		
5	14:20-15:20 *	臨/NST (医師含む) 倫理とチーム活動 (三浦公嗣・2時間)		臨/NST 特定保健用食品、 保健機能食品、 病者用食品の検討 (合田敏尚・4時間)	
6	15:20-16:20 *	臨/NST 科学的根拠に基づいた 栄養ケア・マネジメント 活動 (榎裕美・2時間)			
7	16:20-17:20 *		臨/NST 経腸栄養退院指導の 多職種連携 (大石朋子・2時間)		
8	17:20-18:20 *				

※「経腸栄養退院指導の多職種連携」について※

・8/9 (火) の「経腸栄養退院指導の多職種連携」2時間は、「経腸・静脈栄養」1時間と、「退院 (所) 計画・指導」1時間にあたりま
す。

* 講義時間について *

・各講義時間の最後の10分間は、「まとめ」の時間とします。

栄養サポートチーム研修：診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者及び専任者となる看護師、薬剤師、管理栄養士等
を育成することを目的としております。

・医師は、2日間 (8/6 (土) 9:30~16:20、8/7 (日) 9:30~14:20の10時間) です。

・医師以外の職種の方は、4日間 (3日目・最終日は17:20まで、30時間) 及び、臨床研修10時間です。臨床研修については、募集要
項をご覧ください。

日本健康・栄養システム学会 令和4年度臨床栄養師認定講座プログラム（WEBによる）

日本栄養士会STEP1,2の修了者には、認定講座のうちNSTに関する科目14時間（色付き）、給食経営管理に関する科目2 時間及び症例検討科目のうち16時間の計32時間の受講が免除されます。

no	開催日程	科目	講師	概要	時間	
1	5月21日 (土) 10:00~ 17:00	経営の基礎（令和4年度診療報酬改定及び令和3年度介護報酬改定を踏まえて）	小山秀夫（兵庫県立大学大学院特任教授）	令和4年度診療報酬改定及び令和3年度介護報酬改定を踏まえた病院・介護保険施設の経営の課題やその戦略、そして、今後の栄養専門職や栄養ケア・マネジメントに緊急に求められる課題について講義する。新研修生のみならず継続研修生、現職管理職や予定者のための必須講義。	2時間	10:00~ 12:00
			河部康子（介護老人保健施設 リハビリパーク舞岡栄養課課長）	令和3年度介護報酬改定を踏まえた介護施設の体制づくりと実務についての講義。	2時間	13:00~ 15:00
		特定集中治療室等における栄養管理（令和2年・4年度診療報酬改定）	深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	集中治療医学会の日本版重症患者の栄養療法ガイドラインに基づく栄養管理。令和4年度診療報酬改定対応。	2時間	15:00~ 17:00
2	5月22日 (日) 10:00~ 16:00	栄養ケア・マネジメントの運営－計画・評価・品質改善活動（基本と重要な課題について）	杉山みち子（神奈川保健福祉大学名誉教授）	栄養ケア・マネジメントの歴史、構造、プロセス、評価の要点とその考え方、報酬改定を踏まえた新たな課題や強化すべき課題とその対応のための講義。栄養ケア・マネジメントの初心者や再就職者、教育・研修を担う方のための必須講義。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養教育(低栄養状態)（低栄養に対応するための栄養ケア・マネジメントの要点、栄養ケアプロセス）	藤谷朝実（淑徳大学教授）	病院・施設・在宅患者の低栄養に対応したアセスメント、栄養診断、栄養ケア計画、モニタリングのスキルについて栄養ケアプロセスを踏まえて具体的に講義する。さらに、小児患者における低栄養への対応についても講義する。栄養ケア・マネジメントの初心者、再就職者、教育、研修を担う方のための必須講義。	3時間	13:00~ 16:00
3	6月5日 (日) 10:00~ 17:00	給食経営管理(基礎)（栄養ケア・マネジメントのための給食経営管理のあり方）	麻植有希子（SOMPOケア株式会社地域包括ケア推進部企画グループリーダー）	給食経営管理者に必要な能力として専門性、マーケティング、コミュニケーション能力、経営への参加、戦略立案から人の心を動かすプレゼンテーションまで。	2時間	10:00~ 12:00
		給食経営管理(応用)（給食経営管理上の問題の早期解決をめざして）	清水幸子（地域連携栄養ケア研究会事務局長）	栄養ケア・マネジメントにおける給食経営管理の意義、実践現場が抱える様々な問題（コンフリクトを含めて）とその解決についての能力を高め自信をつけるための講義及び討論。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表（輸液から経腸経口移行の症例検討、栄養管理の一環として輸液管理の基本）	高崎美幸（鶴巻温泉病院栄養サポート室室長）	静脈栄養から経腸栄養、経口移行の2症例の検討。目標設定、経腸栄養の栄養ケア計画作成、静脈栄養量の把握等。	2時間	15:00~ 17:00

令和4年度臨床栄養師認定講座プログラム（WEBによる）

	開催日程	科目	講師	概要	時間	
4	8月6日 (土)～ 8月9日 (火)	栄養サポートチーム研修	(詳細は下記参照のこと)	NST加算を取得するための要件を満たした研修（下記参照のこと。医師（2日間）、看護師、管理栄養士、薬剤師等を対象とします。臨床栄養師研修、栄養サポートチーム研修受講者以外への公開はしていません。）	30時間	
N S T	8月6日 (土) 9:30～ 18:20	経腸・静脈栄養（経腸栄養）【基礎】★	加藤昌彦（福山女学園大学教授）	臨床的に安定している患者の栄養ケア計画作成・補給方法（特に経腸栄養）から実践までを、特に「栄養治療と栄養療法」「経腸栄養～基礎から応用」「エネルギー・各種栄養素必要量の算定」等についての最新の知とその実践方法を学ぶ。	3時間	9:30～ 12:30
		経腸・静脈栄養（経腸栄養）【基礎】（懸濁法等 薬剤との関係）★	菅野浩（済生会横浜市東部病院薬剤部部長）	NSTにおいて必要な懸濁法等の薬剤との関係について学ぶ。	1時間	13:20～ 14:20
		倫理とチーム活動～医療介護サービスとチーム活動を中心に～★	三浦公嗣（藤田医科大学教授）	わが国の医療介護サービスの提供体制とNSTが果たすべき役割について討議する。	2時間	14:20～ 16:20
		科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	櫻裕美（愛知淑徳大学教授）	科学的根拠に基づいた効果的なNSTや栄養ケア・マネジメントの取り組みをめざし、科学的根拠の水準と研究方法の理解、科学的根拠の検索方法、論文を理解するための論文の構造や統計学の基本を学ぶ。	2時間	16:20～ 18:20
	8月7日 (日) 9:30～ 18:20	経腸・静脈栄養法（静脈栄養）【応用】★	深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	静脈栄養法についての基礎として、等張の輸液製剤、輸液の各種基本製剤、中心静脈栄養法（TPN）とその施行上の遵守項目、TPN管理の実際について講義及び実際の電解質組成の計算等の演習から学ぶ。	3時間	9:30～ 12:30
		栄養アセスメント・栄養ケア計画★	深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	栄養障害例の抽出・早期対応のための栄養スクリーニング・栄養アセスメントの基本について学ぶ	1時間	13:20～ 14:20
		特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品の検討	合田敏尚（静岡県立大学特任教授）	食品の選択・適性使用をめざし、特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品に関する制度、種類、関連するエビデンス及び現行の課題から学ぶ。	4時間	14:20～ 18:20
	8月8日 (月) 9:30～ 17:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画福祉基礎	田中和美（神奈川県立保健福祉大学教授）	地域包括ケアシステムにおけるNSTや栄養管理の位置づけを知るために、わが国の医療・福祉政策等の最近の動向、低栄養とフレイル、生活保護、医療・介護・福祉の連携について学ぶ。	2時間	9:30～ 11:30
		栄養アセスメント・栄養ケア計画水電解質と輸液	三原法子（山形大学講師）	栄養栄養法における水・電解質と輸液の基礎を、具体的に多くのNSTの取り組み事例や症例から学ぶ。	2時間	11:30～ 12:30、 13:20～ 14:20
		在宅栄養ケア・マネジメント 高齢者在宅	古賀奈保子（いばらき診療所）	在宅栄養におけるアセスメント・モニタリング、栄養ケア計画作成を事例を通じて学ぶとともに、患者・家族とのコミュニケーションのあり方や今後の課題について学ぶ。	3時間	14:20～ 17:20
	8月9日 (火) 9:30～ 17:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画PES基礎	矢野目英樹（相澤病院栄養科科長）	NST等の症例検討を中心に、栄養診断（総合的な栄養問題の評価）やPES（栄養ケアプロセス）の活用した栄養ケア・マネジメントの展開を学ぶ。	2時間	9:30～ 11:30
		退院（所）計画・指導	高崎美幸（鶴巻温泉病院栄養サポート室室長）	NSTから退院までのチームによる栄養管理のあり方について、特に退院計画作成、退院支援及び退院指導を重視し、講義及び多職種による症例検討から学ぶ。	3時間	11:30～ 12:30、 13:20～ 15:20
経腸栄養退院指導の多職種連携		大石朋子（湘南鎌倉医療大学講師）	経腸栄養利用者の「食べることを支える」ための退院指導の多職種連携のあり方について、経口移行、経口維持のための嚥下スクリーニングや口腔ケア、食事介助等の具体的な手法から学ぶ。看護職による講義。	2時間	15:20～ 17:20	

令和4年度臨床栄養師認定講座プログラム（WEBによる）

	開催日程	科目	講師	概要	時間	
5	8月21日 (日)	栄養教育(保健指導) (行動変容を促す保健指導のあり方)	五味郁子 (神奈川県保健福祉大学准教授)	特定健診・保健指導におけるプログラム、指導計画、コーチング、行動変容を上手に促すスキルについて学ぶ。	2時間	10:00～ 12:00
	10:00～ 15:00	栄養教育(栄養教育の基礎) (子育ての支援と食支援のあり方)	堤ちはる (相模女子大学教授)	妊産婦・授乳婦・乳幼児の栄養教育、食支援の基本を学ぶ。	2時間	13:00～ 15:00
6	8月27日 (土)	症例検討と発表 (脳血管障害の症例検討)	星野郁子 (美原記念病院栄養管理部課長)	脳血管障害の病態や摂食嚥下障害について理解し、栄養ケアプロセスを用いた症例検討と発表を行う。	2時間	10:00～ 12:00
		症例検討と発表 (がん患者に対する栄養管理の症例検討)	上島順子 (NTT東日本関東病院栄養部)	がん患者における栄養管理と管理栄養士の役割を整理した後、栄養ケアプロセスを用いた症例検討と発表を行う。	2時間	13:00～ 15:00
		症例検討と発表 (病院基礎 回復期リハビリテーション病棟への入院から退院まで)	桐谷裕美子 (医療法人社団輝生会教育研修局栄養士、管理栄養士教育担当)	回復期リハビリテーション病棟の特性、低栄養とサルコペニア、高次機能障害について学んだ後、入院から退院前調整までの症例検討と発表を行う。	2時間	15:00～ 17:00
7	9月10日 (土)	栄養ケア・マネジメントの運営一計画・評価・品質改善活動 (入院から在宅訪問までのNCM実践活動、ICU等の栄養ケア)	矢野目英樹 (相澤病院栄養科科長)	急性期病棟のICU等、NST、病棟配置、地域連携強化体制等の栄養ケア・マネジメントの講義・討論。高齢者医療において必要なこと①身体的な問題②精神・心理的な問題③社会・環境的な問題。令和4年度診療報酬改定対応。	2時間	10:00～ 12:00
		症例検討と発表 (ICU等の症例)		相澤病院の地域医療と栄養ケア体制、ICU等入室患者の特性を踏まえた栄養ケアの概論と症例検討。令和4年度診療報酬改定対応。	2時間	13:00～ 15:00
		症例検討と発表 (脂質代謝異常の症例検討)		工藤雄洋 (済生会横浜市東部病院栄養部課長)	脂質異常症の基本的理解を深め、その後栄養ケアプロセスによる症例検討と発表を行う。	2時間
8	9月11日 (日)	栄養ケア・マネジメントと情報管理 (栄養ケアに役立つ様々なIT利用)	宇田淳 (滋慶医療科学大学大学院教授)	情報とは、エビデンスとは、統計のうそとは、伝える情報から伝わる情報へ、ITを使う、情報機器の未来 (ロボットやICT、デジタルヘルス時代)、ITリテラシー等、栄養ケア・マネジメントに役立つ最新の情報管理を具体的な病院、地域医療での事例を通じて学ぶ。	2時間	9:00～ 11:00
		栄養教育(生活習慣病) (生活習慣病の栄養管理と食べることの支援)	鎌田由香 (宮城学院女子大学准教授)	生活習慣病の栄養管理の基本と、食べることを支援するために必要な知識と技術について、事例を通じて学ぶ。	2時間	11:00～ 12:00、 13:00～ 14:00
		栄養教育(カウンセリング、コミュニケーション) (栄養食事相談、カウンセリングの基本)	大木和子 (昭和女子大学大学院 客員研究員)	フレイル、サルコペニア等介護予防の観点からの栄養教育の概論、カウンセリング理論、交流分析に関する講義と実習。	3時間	14:00～ 17:00
9	10月1日 (土)	栄養教育(栄養教育の基礎) (障害を持つ方への栄養評価と生き方を考えた食支援のあり方)	藤谷朝美 (淑徳大学教授)	先天性代謝障害などの代謝や身体、知的障害などによって食べることに支援が必要な方に対する栄養評価の基本を理解するとともに、障害あってもその人なりの生き方を考えた食支援について考える。	2時間	9:00～ 11:00
		経営の基礎 (大学病院における栄養管理のあり方)	野本尚子 (千葉大学医学部附属病院栄養管理室長)	病院における栄養管理と経営のあり方を学ぶ。	1時間	12:10～ 13:10
		症例検討と発表 (高齢者 消化器疾患 (症例検討の基本と栄養ケアプロセス))		高齢の消化管術後症例の栄養ケアプロセスによる検討と討議、解説。	2時間	13:20～ 15:20
	地域栄養活動 (自治体やボランティア活動団体との連携、異文化への対応のあり方)	野地有子 (千葉大学大学院教授)	地域の食事・栄養計画とボランティア活動との連携について、異文化や宗教的制限のある人たちへの栄養ケアへの理解を深める。	2時間	15:30～ 17:30	
10	10月2日 (日)	集団の栄養評価と計画 (地域における食塩摂取調査を事例にして (研究法、論文の書き方の基礎))	西連地利己 (獨協医科大学准教授)	集団の栄養評価と計画について茨城県が実施した食塩摂取調査の事例をもとに講義。また、臨床栄養師認定論文の作成を目指した論文の書き方のコツの全てを学ぶ。論文作成や投稿の初心者、臨床栄養師論文試験の必須科目。投稿経験者も開眼する講義。	4時間	10:00～ 12:00、 13:00～ 15:00
		集団の栄養評価と計画 (実際の原著論文の読み方、文献検索方法)	多田由紀 (東京農業大学准教授)	横断研究、追跡研究、介入研究など、実際の原著論文を事例として、論文に記載すべき事項や考察の展開の仕方など、論文の書き方を学ぶ。	2時間	15:00～ 17:00
11	11月19日 (土)	栄養教育(生活習慣病) (糖尿病食事指導の実践 最近の知見を踏まえた糖尿病の症例検討)	蒲池桂子 (女子栄養大学教授)	糖尿病療養指導から糖尿病性腎症までの食事療法、栄養相談のための知識、技術に関する講義。	2時間	10:00～ 12:00
		臨床栄養師特別講義 症例検討と発表 糖尿病指導に必要な基礎知識	田中明 (女子栄養大学教授)	高齢者の糖尿病の栄養指導に関するエビデンスに関する講義と症例検討。	2時間	13:00～ 15:00
		症例検討と発表 (糖尿病症例の医師と管理栄養士による検討)	田中明 (女子栄養大学教授) 蒲池桂子 (女子栄養大学教授)	女子栄養大学クリニックの教育研究の専門家が、糖尿病症例について管理栄養士と医師の立場から検討と討議を展開する。	2時間	15:00～ 17:00
12	11月20日 (日)	症例検討と発表 (終末期 看取りのための栄養ケア)	梶井文子 (東京慈恵会医科大学教授)	高齢者の看取りやエンド・オブ・ライフにおける基本的な理解を深め、栄養ケア・マネジメントのあり方を倫理、本人・家族のニーズの把握、意志決定プロセスから学び、症例検討も行う。	2時間	10:00～ 12:00
		経営の基礎 (在宅訪問の基礎と実際)	佐藤悦子 (愛全診療所居宅療養管理指導)	在宅訪問栄養ケアの実務と連携体制の実際についての講義。	1時間	13:00～ 14:00
		症例検討と発表 (居宅療養管理指導事例)	佐藤悦子 (愛全診療所居宅療養管理指導) 中野もも (特別養護老人ホーム愛全園栄養課主任)	居宅療養管理指導における困難事例の症例検討と発表を行う。	2時間	14:00～ 16:00